

輸送動向について(平成21年11月)

平成21年12月

1. 輸送概況

今月は、中旬に日本海縦貫線での強風による輸送障害が発生し高速貨12本が運休したものの、大きな輸送障害もなく比較的安定した輸送状況で推移した。

荷動きについては、景気悪化による国内の需要不足が継続したことから、消費財を中心に出荷が低迷し、月全体を通して低調に推移した。

コンテナ貨物は、家電・情報機器、エコ関連物資が前年を上回ったものの、農産品・青果物、紙・パルプなどが前年を下回り、全体では前年比92.5%となった。家電・情報機器はメーカーのモダリティシフトへの新規取組みに加え、エコポイント制度に伴う需要増により増送となった。エコ関連物資は、汚染土壌等のスポット輸送により増送となった。一方、農産品・青果物は政府米及び民間流通米が大きく減送となった。なお、コンテナ貨物全体では平成20年11月以来12ヶ月振りに前年の9割の水準まで回復した。

車扱貨物は、セメント・石灰石などが前年を下回ったものの、石油などが前年を上回り、全体では前年比105.9%となった。セメント・石灰石は一部顧客の輸送中止により減送となった。一方、石油は昨年の価格高に伴う消費減少の反動により増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,752	1,894	92.5%	13,447	15,578	86.3%
車 扱	973	918	105.9%	6,510	6,822	95.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	204	246	-42	82.9%
	化学工業品	165	171	-6	96.5%
	化学薬品	134	134	0	100.0%
	食料工業品	269	274	-5	98.2%
	紙・パルプ	249	276	-27	90.2%
	他工業品	128	141	-13	90.8%
	積合せ貨物	188	204	-16	92.2%
	自動車部品	64	69	-5	92.8%
	家電・情報機器	38	37	1	102.7%
	エコ関連物資	31	29	2	106.9%
	その他	282	314	-32	89.8%
	コンテナ計	1,752	1,894	-142	92.5%
車 扱	石油	661	601	60	110.0%
	セメント・石灰石	118	128	-10	92.1%
	車 両	96	90	6	106.1%
	その他	98	99	-1	99.3%
	車 扱 計	973	918	55	105.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)